

令和5年度 金谷中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-5

| | 実施方針 | 目 標 | 具体的な取り組み | | |
|-------------------------------|---|--|---|---|---|
| 必 須 項 目 | 高齢者を地域で支える体制づくり | 高齢者が住み慣れた地域で安心してくらすことができるように住民主体で高齢者を支えていく体制を整え支援していきます | <p>金谷見守り事業所、民生委員、国保年金課等と連携を図り見守り体制を強化していく</p> <p>生活支援コーディネーター、地区社協、金谷応援隊、CM等の関係機関と協働し高齢者支援について検討をする。また、若い世代を含め地域住民と地域課題を考える機会を作る</p> <p>個別ケース会議を積み重ね、個別課題から見えてきた課題について解決にむけて会議を開催する</p> | <p>①金谷見守り事業所へ包括広報誌の配布【毎月】</p> <p>②金谷地区見守りネットワーク事業所連絡会【年1回】</p> <p>③金谷地区民協と包括との情報交換会【年1回】</p> <p>④国保年金課 保健師との情報交換【1回】</p> <p>①生活支をつなぐ会【年2回】</p> <p>②民生委員、CMとの情報交換会【年1回】</p> <p>③地区社協、自治会、地域住民との地区懇談会【年1回】</p> <p>④金谷応援隊サポーターとの情報交換会【年1回】</p> <p>①個別ケース会議【5回】</p> <p>②地域ケア会議【3回】【テーマ】①見守り体制 ②地域資源</p> | |
| | | 地域住民が主体的に介護予防に取り込むるように支援していきます | <p>介護予防普及啓発講座を開催し住民の介護予防に対する意識を高める。また、高齢者も時代に合ったスマホを活用し講座に参加できるように進めていく</p> <p>地域活動の継続支援と地域団体が抱えている参加者不足とマンネリ化防止の支援と休止しているしまトレ団体の再開支援と新たなしまトレの立ち上げをする</p> | <p>①高齢者あんしん講座【38回】</p> <p>内容：フレイル、圧迫骨折、心の健康、熱中症、栄養、脳トレ等</p> <p>②リアル野球盤を活用した取組</p> <p>③zoomを活用したあんしん講座の開催とスマホ講座の開催</p> <p>①26ヶ所のしまトレ支援</p> <p>②しまトレの再開と新たなしまトレの立ち上げ【中町・北五和・新センターでのしまトレ】</p> <p>③金谷地区しまトレ連絡会【年1回】</p> | |
| | | 多死社会を迎える中で、人生の最期について考える機会をつくる | | <p>①もしバナゲームの普及、開催</p> <p>②もしものあんしんノート</p> <p>③看取りについての体験談を通し「最期を家で迎える方法」を知る会の開催</p> | |
| | 認知症施策の推進 | 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活ができるようにサポート体制を整えていきます | <p>若い世代をはじめ様々な世代に認知症の基礎知識と理解を深め地域で見守る体制をつくる</p> <p>チーム茶つきり、認知症サポーターが活動できる場を広める</p> <p>認知症予防として認知症の方も自分の役割をみつけ活動できる場をつくる</p> | <p>認知症サポーター養成講座【年5回】企業、金谷中学校、金谷・五和小学校など</p> <p>①チーム茶つきり連絡会【年2回】</p> <p>②アンケート作成、配布をして認知症カフェの検討と開催</p> <p>③サロン&茶つきりカフェの拡大</p> <p>新センターでの活動検討【草取り、花壇づくりなど】</p> | |
| | | 多職種・他機関とのネットワーク構築 | 多職種、他機関と連携を図りチームになって支援していきます | <p>薬剤師・理学療法士・SW・看護師・栄養士・CMなどの専門職や福祉課、社協、障害相談機関等の関係機関と顔の見える関係づくりを行い新たな課題について検討していく機械をつくる</p> | <p>①金谷ケアカフェ</p> <p>②金谷地区CM連絡会</p> |
| | | 高齢者虐待防止と成年後見制度の利用支援 | 地域住民、介護サービス事業所の権利擁護理解の促進に努めていきます | <p>多機関と連携を図り高齢者虐待の予防につとめます</p> <p>市社協の成年後見支援センターと連携し成年後見制度の周知活動をするとともに、包括的に生活困窮者の支援していく</p> | <p>虐待についての研修会【民生委員・介護事業所・CMなど】</p> <p>①成年後見制度についての研修会</p> <p>②ケース会議</p> |
| 家族介護者の介護負担軽減等の支援と離職防止に向けた取り組み | 介護知識を学ぶ機会を作り仕事と両立している介護者も離職することなくできるように支援していきます | 若い世代にも介護知識を学ぶ機会をつくるとともに介護の重度化を防止し介護負担が増大しないよう介護負担の軽減を図る。また、いっぴく処の周知活動を行う | <p>①はじめての介護講座</p> <p>②いっぴく処の周知活動</p> | | |